

- 類之(るい・河村) → 岷雪(みんせつ・河村かわむら、絵師) G 4 1 8 3
 類之(るい・河村) → 茗溪(めいけい・河村かわむら、儒者) 4 3 1 4
- 5000 **類次郎**(るいじろう・内藤ないとう) 1839?-9052? 阿波徳島の蘭学者:高島耕斎門/江戸大島圭介門、圭介の塾頭/万延1860-61頃長崎遊学/徳島で英学を教授、維新後;外務省書記官、米国ワシントン公使館在勤/記録局次長、コレラに罹病;急死、1865(慶応元)「塙氏砲論」訳
- 留守斎(るすさい・建部) → 隆勝(たかかつ・建部たけべ、香道家) L 2 6 7 6
 類助(るいすけ・吉川) → 忠安(ただやす・吉川きつかわ/よしかわ、藩士/砲術家) R 2 6 1 0
 類助(るいすけ・山川) → 青山(せいざん・山川やまかわ、藩士/儒詩) I 2 4 4 7
 屢空斎(るくうさい) → 素行(そこう・山鹿やまが、儒/軍学者) 2 5 2 2
- 5003 **留楚**(るそ・武藤むとう/毛利、随順院)?-1810 佐竹氏家臣武藤群次の妹、長門萩藩主毛利重就しげなりの側室、俳人;菊舎尼門/師が俳号[留楚]を命名、毛利匡芳まさよし(1758-92/長府藩10代藩主)・毛利親著(1766-1800/長州藩第11代藩主)の母
 流人軒不埒庵童落院(るにんけんふらちあんどうらくいん) → 都の錦(みやこのにしき、浮世草子) 4 1 3 9
- 5001 **留兵衛**(るへい・田口たぐち) 1801-6464 岩代伊達郡梁川の養蚕農家:蚕の温暖育の研究、1838蚕室改良・炉の使用により飼育日数短縮に成功;普及に尽力、「温度養蚕論」「温度養蚕法口訣」著、[留兵衛(;通称)の別通称/屋号/法号]別通称;彦太郎、屋号;八幡屋、法号;弁明院
 留兵衛(るへい・塩沢) → 亮雄(すけお・塩沢しおざわ/竹村、庄屋/歌) I 2 3 5 8
 瑠璃光庵(るりこうあん) → 梅温(ばいおん[尼]、俳人) 3 6 7 3
 瑠璃光坊(るりこうぼう) → 正次(まさつぐ・日置へき、弓術家) D 4 0 8 4
- 5004 **瑠璃女**(るりじよ・湯浅ゆあさ、滝たき陳良女) 1670-174172 備前岡山の生、読書家、1697岡山藩士湯浅子傑(英)の妻、常山じょうざん(元禎/1708-81/藩士/儒詩)の母、野村尚房なおふさの従姉妹、詠歌・箏を能くす、大目付の夫が江戸赴任中の留守を守り常山を育成・大成させる、賢婦と称される、1741(寛保元)没
- 5002 **瑠璃女御**(るりじよご、源政隆女)?-1089 高松殿(藤原道長室明子)女房/小一条院敦明親王妾、歌人四条宮下野の姉、信宗の母、栄花物語入
 参考 父 → 政隆(まさたか・源、廷臣) D 4 0 1 2
 兄弟 → 行政(ぎょうせい・律師) O 1 6 2 0
 妹 → 下野(しもつけ・四条宮) F 2 1 9 3
 縷々居(るるきよ) → 紫残(しざん・奥田おくだ、俳人) T 2 1 5 5